

(19)日本国特許庁(JP)

(12)特許公報(B2)

(11)特許番号
特許第7688080号
(P7688080)

(45)発行日 令和7年6月3日(2025.6.3)

(24)登録日 令和7年5月26日(2025.5.26)

(51)国際特許分類	F I				
A 4 1 C	3/08 (2006.01)	A 4 1 C	3/08		
A 4 1 C	3/00 (2006.01)	A 4 1 C	3/00	A	
A 4 1 C	3/10 (2006.01)	A 4 1 C	3/10	A	
A 4 1 B	9/06 (2006.01)	A 4 1 B	9/06	D	

請求項の数 16 (全12頁)

(21)出願番号	特願2023-135509(P2023-135509)	(73)特許権者	523321006
(22)出願日	令和5年8月23日(2023.8.23)		ユン ミン ジ
(65)公開番号	特開2024-31921(P2024-31921A)		大韓民国 キョンギ - ド ファソン - シ
(43)公開日	令和6年3月7日(2024.3.7)		トンタンキフン - ロ 3 9 3 - 2 0 9 0
審査請求日	令和5年8月23日(2023.8.23)		3 - 3 0 0 4 (パラゴン オブ トンタン
(31)優先権主張番号	10-2022-0105821		ステーション オサン - ドン)
(32)優先日	令和4年8月23日(2022.8.23)	(74)代理人	110001243
(33)優先権主張国・地域又は機関	韓国(KR)		弁理士法人谷・阿部特許事務所
		(72)発明者	ユン ミン ジ
			大韓民国 キョンギ - ド ファソン - シ
			トンタンキフン - ロ 3 9 3 - 2 0 9 0
			3 - 3 0 0 4 (パラゴン オブ トンタン
			ステーション オサン - ドン)
		審査官	嘉村 泰光

最終頁に続く

(54)【発明の名称】 ブラカップ内蔵衣類

(57)【特許請求の範囲】

【請求項 1】

トップス部と、
前記トップス部の内側において前記トップス部と重なるように備えられ、着用者の肌に直接接触し、前記着用者の胸を保護するブラカップと、を含み、
前記ブラカップは、
前記トップス部の内側において肩及び脇の部分と縫製されて形成され、
前記トップス部に比べて相対的に伸縮性の高い素材からなり、
前記縫製は、
前記ブラカップのサイズが前記トップス部のサイズより小さい状態で縫製されることにより伸縮性の高い前記ブラカップによる前記トップス部の収縮現象が発生しない、ブラカップ内蔵衣類。

10

【請求項 2】

前記トップス部は、
前記ブラカップより相対的に伸縮性が低いかまたは伸縮性のない生地からなる、請求項 1 に記載のブラカップ内蔵衣類。

【請求項 3】

前記縫製は、
前記ブラカップが前記トップス部の内側において前記肩及び前記脇の部分に沿って互いに縁が一致するように縫製される、請求項 2 に記載のブラカップ内蔵衣類。

20

【請求項 4】

前記トップス部にはポリエステルを含む生地が使用され、

前記ブラカップにはモダール繊維を含む生地が使用される、請求項 3 に記載のブラカップ内蔵衣類。

【請求項 5】

前記ブラカップは、

前記縫製が行われる前記肩において前記トップス部のサイズより 1 . 5 c m 以上 7 c m 以下小さい状態で前記縁が一致するように縫製される、請求項 4 に記載のブラカップ内蔵衣類。

【請求項 6】

前記トップス部はポリエステル 1 0 0 % からなり、

前記ブラカップは前記モダール繊維にスパン繊維を合成したモダール 3 0 番手からなる、請求項 5 に記載のブラカップ内蔵衣類。

【請求項 7】

前記ブラカップの上端は自己仕上げ処理され、

前記ブラカップの下端は前記着用者の肌に当接するようにニッティングまたはバンディング処理される、請求項 6 に記載のブラカップ内蔵衣類。

【請求項 8】

前記トップス部は、

襟及び袖を含み、

前記着用者が前記トップス部の着用時に前記トップス部の形態のまま着用する、請求項 7 に記載のブラカップ内蔵衣類。

【請求項 9】

前記ブラカップは、

ブラパッドの挿入及び取り出しを可能にする開口部を含む、請求項 8 に記載のブラカップ内蔵衣類。

【請求項 1 0】

胸部及び袖を含むトップス部と、

前記トップス部の内側において縫製されて着用者の肌に直接接触し、前記着用者の胸を保護するブラカップと、を含み、

前記ブラカップは、

前記トップス部と縫製される前と後の幅のサイズが変わり、

前記トップス部と縫製される前は前記ブラカップが伸びておらず前記胸部の幅より小さい幅であるが、前記トップス部との縫製過程において前記ブラカップは前記トップス部と縫製される区間で前記胸部の幅と一致する幅を有するように縫製されることにより前記ブラカップは伸びた状態で前記トップス部と縫製され、

前記ブラカップは、

前記トップス部の内側において肩及び脇の部分の少なくとも一部区間が前記トップス部と縫製されて形成され、

前記トップス部の幅よりそれぞれ 1 . 5 c m 以上 5 c m 以下小さい状態で前記トップス部の幅と一致する幅になるように伸びた状態で前記トップス部と縫製される、ブラカップ内蔵衣類。

【請求項 1 1】

前記縫製は、

前記トップス部よりサイズは小さいが、伸縮性の高い単一素材で形成される前記ブラカップが全体的に伸びた状態で前記トップス部と縫製されて伸縮性の高い前記ブラカップの伸縮性が減少するため、前記トップス部と前記ブラカップの伸縮性の差による前記トップス部の収縮現象の発生を防止する、請求項 1 0 に記載のブラカップ内蔵衣類。

【請求項 1 2】

前記ブラカップは、

前記トップス部との伸縮性の差に応じて前記縫製過程で伸びる長さが変わり、前記トップス部との伸縮性の差が大きくなると、前記縫製過程で伸びる長さが長くなる、請求項 1 1 に記載のブラカップ内蔵衣類。

【請求項 1 3】

胸部及び袖を含むトップス部と、
前記トップス部の内側において縫製されて着用者の肌に直接接触し、前記着用者の胸を保護するブラカップと、を含み、

前記ブラカップは、

前記トップス部と縫製される前と後の断面のサイズが変わり、

前記トップス部と縫製される前は前記ブラカップが伸びておらず前記胸部の断面より小さい断面であるが、前記トップス部との縫製過程において前記ブラカップは前記トップス部と縫製される区間で前記胸部の断面の縁と一致する断面を有して前記トップス部と縫製されることにより前記ブラカップは伸びた状態で前記トップス部と縫製され、

前記ブラカップは、

前記トップス部の内側において肩及び脇の部分の少なくとも一部区間が前記トップス部と縫製されて形成され、

前記トップス部の断面の縁よりそれぞれ 1 . 5 c m 以上 5 c m 以下小さい状態で前記トップス部の断面の縁と一致する断面になるように伸びた状態で前記トップス部と縫製される、ブラカップ内蔵衣類。

【請求項 1 4】

前記縫製は、

前記トップス部よりサイズは小さいが、伸縮性の高い単一素材からなる前記ブラカップが全体的に伸びた状態で前記トップス部と縫製されて伸縮性の高い前記ブラカップの伸縮性が減少するため、前記トップス部と前記ブラカップの伸縮性の差による前記トップス部の収縮現象の発生を防止する、請求項 1 3 に記載のブラカップ内蔵衣類。

【請求項 1 5】

前記ブラカップは、

前記トップス部との伸縮性の差に応じて前記縫製過程で伸びる長さが変わり、前記トップス部との伸縮性の差が大きくなると、前記縫製過程で伸びる長さが長くなる、請求項 1 4 に記載のブラカップ内蔵衣類。

【請求項 1 6】

前記ブラカップは、

ブラパッドの挿入及び取り出しを可能にする開口部を含み、

前記ブラカップの上端は自己仕上げ処理され、

前記ブラカップの下端は前記着用者の肌に当接するようにニッティングまたはバンディング処理されて前記トップス部とは異なる幅または断面を有し、

前記着用者が前記トップス部の着用時に前記トップス部の形態のまま着用する、請求項 1 0 または 1 3 に記載のブラカップ内蔵衣類。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0 0 0 1】

本発明はブラカップ内蔵衣類に関する。

【背景技術】

【0 0 0 2】

通常、トップスの中に着用する女性用下着であるブラは女性の胸の外部への露出を遮断し、胸を保護及びカバーしサポートして女性の体型を維持し、女性の胸と密着して使用される。

【0 0 0 3】

しかし、ブラは女性の胸の部分を圧迫し続けるため、ブラを着用した女性は息苦しさや痛みを感じることがあり、特に夏場は胸のあたりに多量の汗が発生し得るため、不快感を

10

20

30

40

50

誘発し、肌トラブルなどを引き起こす可能性がある。

【 0 0 0 4 】

当該問題点を解決すべく、ブラが内蔵されているかまたは胸の露出を防ぐことができる様々な形態の下着またはトップスなどの衣類が提案されたが、Ｔシャツ、ノースリーブ、キャミソールなどの衣類及びメッシュ材質の裏地が使用されるなど通気性に焦点を当てた衣類が多く、特にメッシュ材質は着用者によって着心地が悪いとすることがあり、伸縮性が落ちて様々な着用者の身体に適用しにくいという短所がある。

【発明の概要】

【発明が解決しようとする課題】

【 0 0 0 5 】

本発明は上記のような従来技術の問題点を解決するために創出されたものであり、本発明の目的は内部にブラカップが結合されており、別途のブラの着用なしに向上した着用感を提供し、滑らかで伸縮性のある裏地を使用することにより、様々な着用者の身体に適用可能なブラカップ内蔵衣類を提供することである。

【課題を解決するための手段】

【 0 0 0 6 】

本発明の一実施例によるブラカップ内蔵衣類は、トップス部と、上記トップス部の内側において上記トップス部と重なるように備えられ、着用者の肌に直接接触し、上記着用者の胸を保護するブラカップと、を含み、上記ブラカップは、上記トップス部の内側において肩及び脇の部分と縫製されて一体に形成され、上記トップス部に比べて相対的に伸縮性の高い素材からなり、上記縫製は、上記ブラカップのサイズが上記トップス部のサイズより小さい状態で縫製されることにより伸縮性の高い上記ブラカップによる上記トップス部の収縮現象が発生しないことができる。

【 0 0 0 7 】

具体的に、上記トップス部は上記ブラカップより相対的に伸縮性が低いかまたは伸縮性のない生地からなってもよい。

【 0 0 0 8 】

具体的に、上記縫製は上記ブラカップが上記トップス部の内側において上記肩及び上記脇の部分に沿って互いに縁が一致するように縫製されてもよい。

【 0 0 0 9 】

具体的に、上記トップス部にはポリエステルを含む生地が使用され、上記ブラカップにはモダール繊維を含む生地が使用されてもよい。

【 0 0 1 0 】

具体的に、上記ブラカップは上記縫製が行われる上記肩において上記トップス部のサイズより 1 . 5 c m 以上 7 c m 以下小さい状態で上記縁が一致するように縫製されてもよい。

【 0 0 1 1 】

具体的に、上記トップス部はポリエステル 1 0 0 % からなり、上記ブラカップは上記モダール繊維にスパン繊維を合成したモダール 3 0 番手からなってもよい。

【 0 0 1 2 】

具体的に、上記ブラカップの上端は自己仕上げ処理され、上記ブラカップの下端は上記着用者の肌に当接するようにニッティングまたはバンディング処理されてもよい。

【 0 0 1 3 】

具体的に、上記トップス部は襟及び袖を含み、上記着用者が上記トップス部の着用時に上記トップス部の形態のまま着用することができる。

【 0 0 1 4 】

具体的に、上記ブラカップはブラパッドの挿入及び取り出しを可能にする開口部を含んでもよい。

【発明の効果】

【 0 0 1 5 】

本発明のブラカップ内蔵衣類は、内部にブラカップが結合されており、別途のブラの着

10

20

30

40

50

用なしに向上した着用感を提供し、滑らかで伸縮性のある裏地を使用することにより、様々な着用者の身体に適用可能である。

【図面の簡単な説明】

【 0 0 1 6 】

【図 1】本発明の一実施例によるブラカップ内蔵衣類のトップス部の正面図である。

【図 2】本発明の一実施例によるブラカップ内蔵衣類のトップス部の背面図である。

【図 3】本発明の一実施例によるブラカップ内蔵衣類の内側（裏返した状態）を概略的に示す正面図である。

【図 4】本発明の一実施例によるブラカップ内蔵衣類の内側（裏返した状態）を概略的に示す背面図である。

10

【図 5】本発明の一実施例によるブラカップ内蔵衣類のトップス部にブラカップが透視された正面図である。

【図 6】本発明の一実施例によるブラカップ内蔵衣類のトップス部にブラカップが透視された背面図である。

【発明を実施するための形態】

【 0 0 1 7 】

本発明の目的、特定の利点及び新規な特徴は、添付の図面と関わる以下の詳細な説明及び好ましい実施例によりさらに明らかになるであろう。本明細書では、各図面の構成要素に参照番号を付するにおいて、同じ構成要素に限ってはたとえ異なる図面上に表示されても可能な限り同じ番号を付したことに留意されたい。また、本発明を説明するにあたり、関連する公知技術に対する具体的な説明が本発明の要旨を不要に不明確にすると判断される場合はその詳細な説明を省略する。

20

【 0 0 1 8 】

図 1 は本発明の一実施例によるブラカップ内蔵衣類のトップス部の正面図であり、図 2 は本発明の一実施例によるブラカップ内蔵衣類のトップス部の背面図であり、図 3 は本発明の一実施例によるブラカップ内蔵衣類の内側（裏返した状態）を概略的に示す正面図であり、図 4 は本発明の一実施例によるブラカップ内蔵衣類の内側（裏返した状態）を概略的に示す背面図である。

【 0 0 1 9 】

図 1 ～ 図 4 を参照すると、本発明の一実施例によるブラカップ内蔵衣類 1 は女性服であってもよく、トップス部 1 1 と、トップス部の内側に縫製されるブラカップ 1 2 と、を含んでもよい。

30

【 0 0 2 0 】

女性服の外形を構成するトップス部 1 1 をブラウスまたはワイシャツで示しているが、トップス部 1 1 は T シャツ、ワンピースなどの様々な女性服の何れか 1 つの形態であってもよい。

【 0 0 2 1 】

トップス部 1 1 は胸部に首の挿入口（符号不図示）、両側の袖（符号不図示）、襟（符号不図示）などを含んでもよく、下部が開口された形状であってもよい。

【 0 0 2 2 】

40

トップス部 1 1 は、トップス部 1 1 の内側に縫製されるブラカップ 1 2 より相対的に伸縮性が低いかまたは伸縮性のない生地からなってもよい。また、トップス部 1 1 とブラカップ 1 2 の生地は互いに異なってもよい。

【 0 0 2 3 】

トップス部 1 1 の生地としてはポリエステルが含まれた生地が使用され、引っ張ったときに硬くて伸縮性は低下するものの、乾燥が早く、形態を維持する形態安定性が高く、端正に見える。

【 0 0 2 4 】

トップス部 1 1 の生地としてポリエステル以外の他の生地を使用することも可能であり、ポリエステルの比率は変わってもよく、場合によってはポリエステル 100% であっても

50

もよい。

【 0 0 2 5 】

図 1 を参照すると、トップス部 1 1 としてブラウスが示されており、通常のブラウスまたは女性の衣類にはボタンまたはファスナーが備えられているため、着用者はボタンまたはファスナーを通じて服の形態を変えて服を着用することができる。

【 0 0 2 6 】

服にボタンまたはファスナーが備えられる場合、着用者の服の着用は容易になることはあるが、着用後にボタンまたはファスナーを閉めるという不便があり、特に、女性服はファスナーが背中に配置されており、不便が大きくなる可能性がある。

【 0 0 2 7 】

これに対して、本発明の一実施例によるブラカップ内蔵衣類 1 は、ボタンまたはファスナーが備えられておらず、服の形態変更なしにトップス部 1 1 に含まれる首の挿入口を介してトップス部 1 1 の形態のまま着用者が容易に着脱できる。

【 0 0 2 8 】

ブラカップ 1 2 はトップス部 1 1 の内側においてトップス部 1 1 と一部重なるように備えられてもよく、着用者の肌に直接接触して着用者の胸を保護することができる。

【 0 0 2 9 】

図 3 及び図 4 を参照すると、ブラカップ 1 2 はトップス部 1 1 の肩 2 1 及び脇 2 2 の部分で重なり、脇 2 2 の部分よりも長く備えられてトップス部と一部が重なる二重構造であることが分かる。

【 0 0 3 0 】

図 3 及び図 4 は本発明の一実施例によるブラカップ内蔵衣類 1 の内側（裏返した状態）を概略的に示す図であり、図 3 及び図 4 におけるトップス部 1 1 とブラカップ 1 2 は内側に裏返された状態である。

【 0 0 3 1 】

ブラカップ 1 2 は着用者の肌に直接接触するため、通気性を確保するためにトップス部 1 1 に比べて相対的に伸縮性の高い素材からなってもよい。

【 0 0 3 2 】

通常、裏地としてはメッシュ材質が多く使われるが、メッシュ材質は通気性には優れるものの、汗を吸収できず、ざらざらとした感触があり、着用者の肌に直接触れるように配置されると、着用者によっては着心地の悪さを訴える可能性がある。

【 0 0 3 3 】

これに対し、本発明の一実施例によるブラカップ内蔵衣類 1 におけるブラカップ 1 2 は、柔らかく、汗を吸収する吸湿性も有し、通気性が確保されたモダール繊維を使用することができる。

【 0 0 3 4 】

ブラカップ 1 2 にはモダール繊維にスパン繊維を合成した生地を使用してもよく、使用される糸の太さに応じてブラカップ 1 2 の厚さ及び伸縮性が変わることができ、例えば、通称、モダール 3 0 番手を使用することができる。

【 0 0 3 5 】

ブラカップ 1 2 の全体をモダール繊維のみを使用すると、通気性が確保され、着用感が向上することはできるが、一部で透けて見える可能性があり、トップス部 1 1 を通じて一部露出が発生し得る。これを防ぐために、ブラカップ 1 2 の胸の中央部分にはブラパッド 1 3 を備えて露出を防止することができる。

【 0 0 3 6 】

ブラカップ 1 2 はブラパッド 1 3 の挿入及び取り出しを可能にする開口部 1 4 を含んでもよく、違うサイズのブラパッド 1 3 に交換することができ、着用者の選択に応じてブラパッド 1 3 なしで着用することも可能であり、衣類の洗濯時にはブラパッド 1 3 を外して洗濯することができる。

【 0 0 3 7 】

10

20

30

40

50

開口部 14 はブラパッド 13 の下端に設けられてもよく、ファスナーまたはベルクロが備えられて開閉することができる。

【0038】

トップス部 11 と裏地の生地伸縮性が異なる場合は、伸縮性の差により生地が縮む収縮現象が発生し得る。

【0039】

トップス部 11 と裏地の生地伸縮性がある場合、例えば、トップス部 11 と裏地の生地がともに綿である場合があり得る。トップス部 11 と裏地の生地を同じものを使用するか、異なる種類の綿を使用して伸縮性に差が生じても基本的に生地が伸縮性を有しており、収縮現象が発生しないか、大きくないため、問題にならない可能性がある。

10

【0040】

トップス部 11 と裏地の生地伸縮性がない場合、例えば、トップス部 11 と裏地の生地がともにポリエステルである場合があり得る。トップス部 11 と裏地の生地を同じものを使用するか、生地のポリエステルの比率が異なって伸縮性に差が生じても基本的に生地に伸縮性がないため、伸縮性の差による収縮現象が発生しないか、小さくなくて問題にならない可能性がある。

【0041】

トップス部 11 のみに伸縮性がある場合、例えば、トップス部 11 の生地は綿で、裏地の生地はメッシュまたはポリエステルなどである場合があり得る。

【0042】

20

トップス部 11 に使用される生地伸縮性が裏地に使用される生地より大きい場合に該当し、伸縮性の差により伸縮性の低い裏地において収縮現象が発生することはあるが、伸縮性の大きいトップス部 11 では収縮現象が発生しないことができる。

【0043】

裏地はトップス部 11 の内側に備えられるため、収縮現象が発生しても肉眼では見えにくくて問題にならず、裏地の伸縮性が低いため、トップス部 11 と縫製される裏地のサイズを調整すると、収縮現象が発生しないこともある。

【0044】

裏地のみに伸縮性がある場合、例えば、トップス部 11 の生地がポリエステルで、裏地の生地が綿である場合があり得る。本発明の一実施例によるブラカップ内蔵衣類 1 がこの場合に該当し、裏地は本発明のブラカップ 12 に該当することができる。

30

【0045】

裏地に伸縮性があると、着用者の体型に合わせて伸縮できるメリットがあるが、トップス部 11 に伸縮性がない場合は裏地の伸縮性によりトップス部 11 に収縮現象が発生し得る。上述した裏地に収縮現象が発生する場合とは異なり、トップス部 11 に収縮現象が発生すると、肉眼ですぐ確認でき、美観上良くないため、問題となり得る。

【0046】

トップス部 11 に収縮現象が発生する問題点は、裏地であるブラカップ 12 として備えられる伸縮性のある綿またはモダール 30 番手のサイズをトップス部 11 のサイズより小さい状態で縫製することで解決した。

40

【0047】

伸縮性のある裏地を伸縮していない状態でトップス部 11 に縫製する場合、裏地の伸縮性によってトップス部 11 に収縮現象が発生したが、裏地のサイズが小さい状態でトップス部 11 と縫製をすると、裏地がある程度伸びた状態でトップス部 11 と縫製されるため、裏地の伸縮性が減少し、トップス部 11 で収縮現象が発生する問題点が解決されることができる。

【0048】

本発明の一実施例によるブラカップ内蔵衣類 1 では、トップス部 11 とブラカップ 12 は肩 21 と脇 22 の部分で縫製されて一体に形成されるが、縫製が行われる肩 21 においてブラカップ 12 のサイズをトップス部 11 のサイズより 1.5 cm 以上 7 cm 以下小さ

50

い状態で縁が一致するように縫製すると、トップス部 1 1 の収縮現象を解決することができる。

【 0 0 4 9 】

トップス部 1 1 とブラカップ 1 2 とのサイズの差は服のサイズによって変わってもよく、スモールサイズを基準として 1 . 5 c m 以上 5 c m 以下小さい状態で縫製が行われてもよい。

【 0 0 5 0 】

好ましくは、伸縮性のある生地を使用するブラカップ 1 2 は、伸縮性のない生地を使用するトップス部 1 1 より、スモールサイズを基準として肩 2 1 において 2 . 0 4 c m 小さい状態で縫製が行われてもよい。

10

【 0 0 5 1 】

ブラカップ 1 2 は、肩 2 1 または脇 2 2 においてトップス部 1 1 より小さい状態で縫製が行われてもよく、具体的な数値は、肩 2 1 または脇 2 2 においてブラカップ 1 2 が小さな状態で縫製されるか否か及びブラカップ 1 2 の生地の種類によって変わってもよい。

【 0 0 5 2 】

ブラカップ 1 2 は、トップス部 1 1 の内側において肩 2 1 及び脇 2 2 の部分と縫製されて一体に形成されてもよい。縫製は、ブラカップ 1 2 とトップス部 1 1 の内側において肩 2 1 及び脇 2 2 の部分に沿って互いに縁が一致するように縫製されることができる。

【 0 0 5 3 】

トップス部 1 1 の内側である裏返した状態で、肉眼で肩 2 1 及び脇 2 2 の部分におけるトップス部 1 1 の内側とブラカップ 1 2 が一致するように縫製及び上述したトップス部 1 1 の収縮現象を防止するために、ブラカップ 1 2 のサイズがトップス部 1 1 より小さく備えられてもよい。

20

【 0 0 5 4 】

図 3 及び図 4 を参照すると、トップス部 1 1 の内側である裏返した状態で肩 2 1 及び脇 2 2 の部分においてトップス部 1 1 とブラカップ 1 2 の縁が一致して縫製されていることが分かる。トップス部 1 1 とブラカップ 1 2 の生地を比較すると、トップス部 1 1 の生地に比べてブラカップ 1 2 の生地にしわが多くてブラカップ 1 2 の伸縮性が相対的に高いことが分かる。

【 0 0 5 5 】

30

図 3 及び図 4 を参照すると、ブラカップ 1 2 の肩 2 1 及び脇 2 2 の部分はトップス部 1 1 と縫製されているが、上端（符号不図示）及び下端（符号不図示）はトップス部 1 1 と縫製されていないことが分かる。

【 0 0 5 6 】

ブラカップ 1 2 の上端は自己仕上げ処理され、トップス部 1 1 の首の挿入口及び襟より下部に位置し、着用時に肉眼で確認されないことができる。ブラカップ 1 2 の上端は服のサイズに応じて着用者の肌に当接するか、着用者の肌に触れるが余裕空間が生じて通気性を向上させることができる。

【 0 0 5 7 】

ブラカップ 1 2 の下端は着用者の肌に当接するようにニッティングまたはバンディング処理されてブラカップ 1 2 の位置を固定することができ、着用者の胸及びブラカップ 1 2 の揺れを最小化することができる。

40

【 0 0 5 8 】

ブラカップ 1 2 の肩 2 1 及び脇 2 2 の部分は縫製によりトップス部 1 1 に固定され、ブラカップ 1 2 の下端は着用者の肌に当接するようにニッティングまたはバンディング処理されて固定され、ブラカップ 1 2 の上端はトップス部 1 1 に固定されずに自己仕上げ処理され、ブラカップ 1 2 の生地が伸縮性のあるものからなることによって、本発明の一実施例によるブラカップ 1 2 内装衣類におけるブラカップ 1 2 は密着性により様々な身体の利用者が使用でき、胸の形に限定されず、身だしなみを維持することができ、着用時の活動が便利な効果が得られる。

50

【 0 0 5 9 】

図 5 は本発明の一実施例によるブラカップ内蔵衣類のトップス部にブラカップが透視された正面図であり、図 6 は本発明の一実施例によるブラカップ内蔵衣類のトップス部にブラカップが透視された背面図である。

【 0 0 6 0 】

図 5 及び図 6 を参照すると、トップス部 1 1 にブラカップ 1 2 が透視されて縫製した縁が詳細に確認できる。トップス部 1 1 とブラカップ 1 2 は肩 2 1 及び脇 2 2 の部分で縫製されていることが分かり、伸縮性のあるブラカップ 1 2 をしっかりと支持するために肩 2 1 及び脇 2 2 の縁に沿って一体に縫製されていることが分かる。

【 0 0 6 1 】

ブラカップ 1 2 の上端はトップス部 1 1 の前面及び背面と縫製されておらず、ブラカップ 1 2 の下端はニッティングまたはバンディング処理されていることが分かる。ブラカップ 1 2 の上端及び下端はトップス部 1 1 の内側と縫製されずに分離できるように形成されることにより、着用者の行動を妨げないことができる。

【 0 0 6 2 】

トップス部 1 1 の前面にはボタンまたはファスナーが設けられず、縫製によりトップス部 1 1 の前面の左右側が縫製されて着用者がトップス部 1 1 の着用時にトップス部 1 1 の形態のまま着用するため、ボタンまたはファスナーを開閉するものに比べて着用が容易である。

【 0 0 6 3 】

トップス部 1 1 の前面の縫製は、首の挿入口を介して着用者がブラカップ内蔵衣類 1 を着用できるようにするため、首の挿入口まで縫製されないようにトップス部 1 1 の前面の一部分が縫製されてもよい。

【 0 0 6 4 】

図 5 を参照すると、ブラパッド 1 3 は互いに離隔して配置され、それぞれのブラパッド 1 3 の間に縫い目が設けられて開口部 1 4 のサイズを制限することができる。

【 0 0 6 5 】

本発明は上述した実施例に限定されず、上記実施例と公知技術の組み合わせをさらに他の実施例として含むことができる。

【 0 0 6 6 】

以上、本発明を具体的な実施例をもって詳細に説明したが、これは本発明を具体的に説明するためのものであり、本発明はこれに限定されず、本発明の技術的思想内で当該分野の通常の知識を有する者によってその変形や改良が可能であることは明らかである。

【 0 0 6 7 】

本発明の単なる変形ないし変更はすべて本発明の領域に属し、本発明の具体的な保護範囲は添付の特許請求の範囲によって明らかになるであろう。

【 符号の説明 】

【 0 0 6 8 】

- 1 ブラカップ内蔵衣類
- 1 1 トップス部
- 1 2 ブラカップ
- 1 3 ブラパッド
- 1 4 開口部
- 2 1 肩
- 2 2 脇

10

20

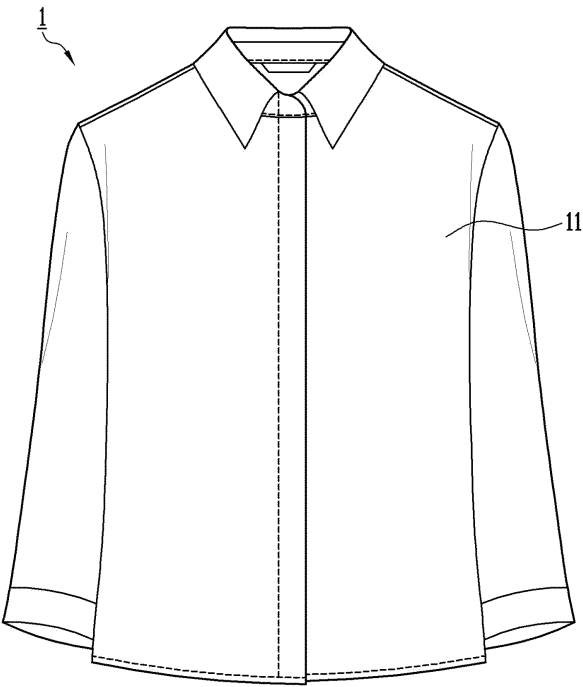
30

40

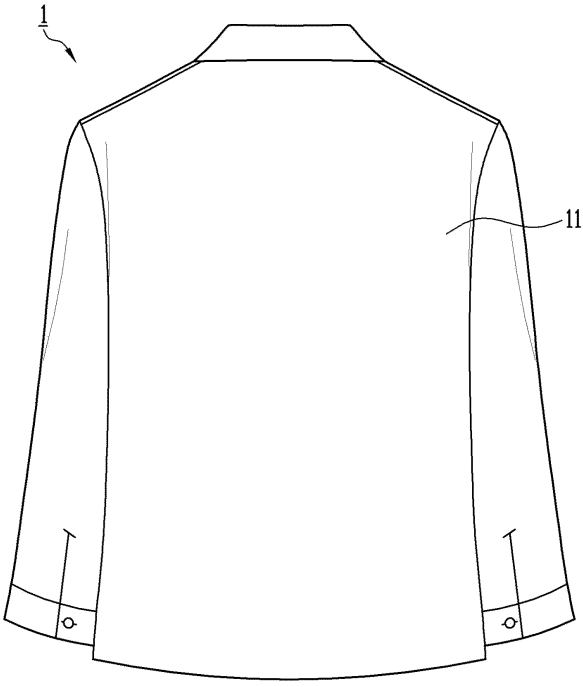
50

【図面】

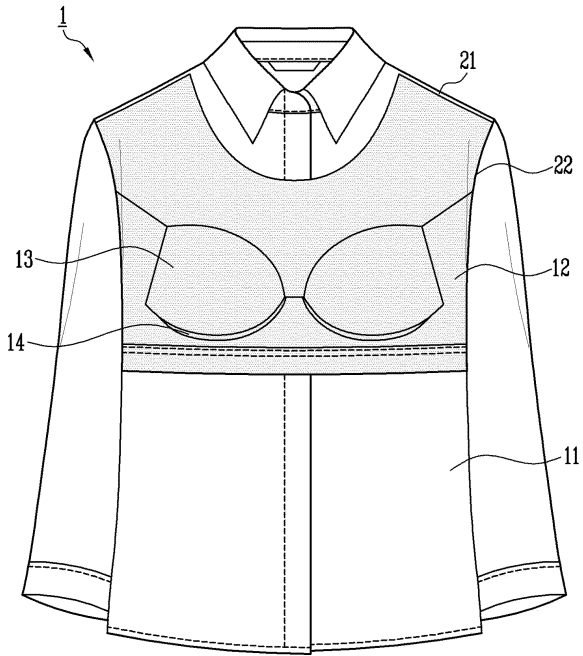
【図 1】



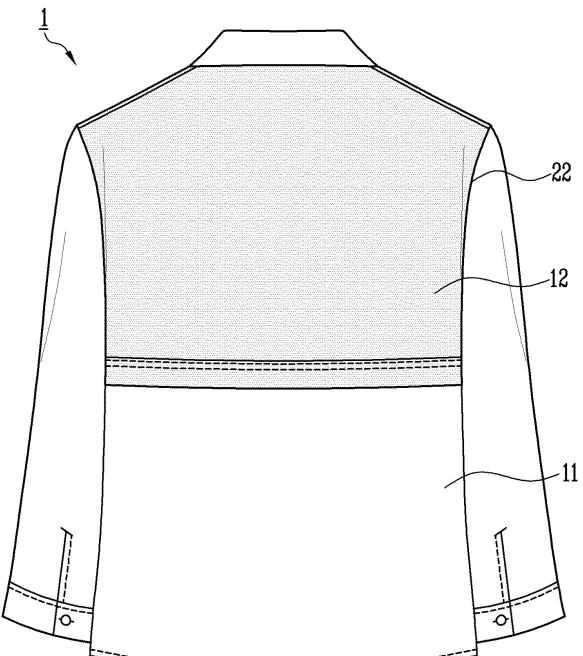
【図 2】



【図 3】



【図 4】



10

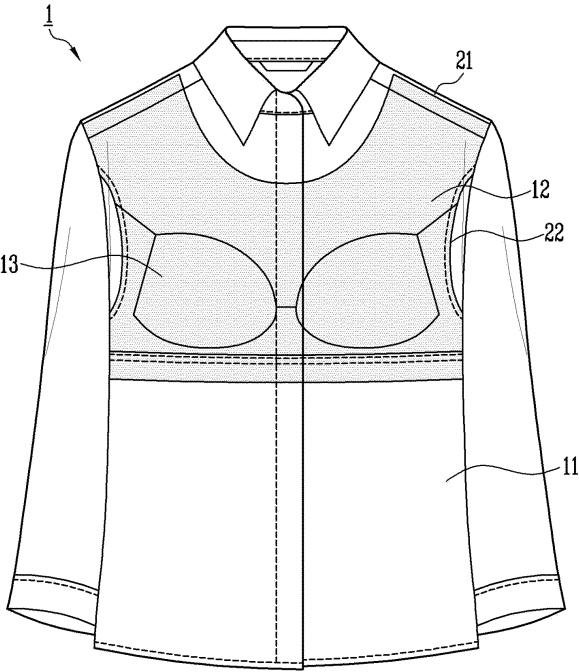
20

30

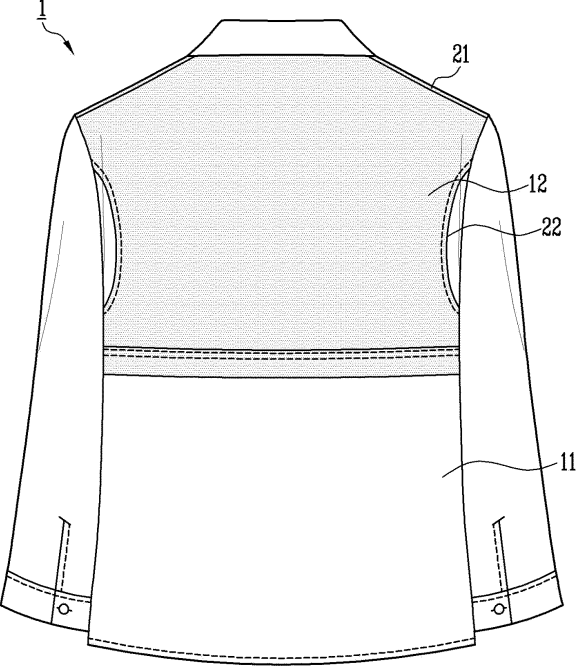
40

50

【図 5】



【図 6】



10

20

30

40

50

フロントページの続き

- (56)参考文献 特開 2 0 2 1 - 0 9 8 9 1 8 (J P , A)
登録実用新案第 3 1 8 7 8 1 6 (J P , U)
特開 2 0 0 3 - 1 2 9 3 0 3 (J P , A)
- (58)調査した分野 (Int.Cl. , D B 名)
- A 4 1 B 9 / 0 6
A 4 1 B 9 / 0 8
A 4 1 C 1 / 0 0 - 5 / 0 0